



第 112号

編集
代田・九条の会
小澤 清子
伊東 宏

代田・九条の会News

2018/3/14

itohiroshi1007@gmail.com

ホームページ : <http://www.daita-9jo.sakuraweb.com/>

「安倍 9 条改憲 NO！ 憲法を生かす全国統一署名」を まわりのひとびとに ひろげてください

代田・九条の会 (2018年3月17日)

九条改憲の企みが急速に進んでいます。

自民党は、3月末の党大会で改憲案を決定し、通常国会(1月～6月)への提案を狙っています。臨時国会(9月～10月頃)で憲法改正を發議し(両議員で議員数の2/3以上の賛成が必要)、その後60日から180日以内に国民投票を実施し、2019年早期に改憲を実現させようとしています。目が離せない状況です。

安倍政権は、これまでに特定秘密保護法(2013年)、安保法制法(戦争法)(2015年)、そしてテロ等準備罪法(共謀罪法)(2017年)を強行採決により次々に成立させました。この無謀なやり方には、国民に知らせずに、海外での武力行使を準備し、反対する勢力は取り締まる、という意図が垣間見えます。総仕上げが9条改憲で、日本を戦争できる国にすることです。

私たち市民は、これまでも懸命に声を上げてきました。過去の悲惨な歴史から、憲法9条の「戦争しない、軍隊は持たない」ことが平和の原点だと訴えてきました。

いま、各地で「憲法改憲 NO！ 憲法を生かす全国統一署名」が始まっています。これは「戦争させない、9条壊すな！」を掲げる全国の様々なグループが「9条改憲反対」の一点で手をつなぎ、津々浦々から上がる「憲法9条を変えるな！」の声を国会へ届ける署名活動です。

ご家族、友人、知人、同僚などにこの署名を広めましょう。

署名の仕方・回収方法

- ・署名は5名まで連記できます。一人分でもOKです。
- ・用紙が不足する場合は、下記の担当者までご連絡下さい。
- ・自分の意思に基づくならば、小学生でも署名できます。
- ・署名する人それぞれで、区名から住所を記入して下さい。(同上や〃は用いない下さい)。
- ・可能な方は、お近くの回収担当者までお届け下さい(ポストに入れて頂ければ結構です)。

- ・代田1丁目 岩瀬
- ・代田2丁目 伊東
- ・代田2丁目 坂本
- ・代田4丁目 萱野
- ・代田5丁目 小澤
- ・代田5丁目 野間口
- ・代田5丁目 日暮
- ・梅丘1丁目 湯沢

- ・郵送の場合は、事務局宛にご返信下さい。切手代はご負担いただけると幸いです。



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

投稿 辺野古 新基地建築の問題：二つの活断層に挟まれたところに弾薬庫を建設

***** 知る権利が蹂躪され、知らせる義務が放棄されている*****

2月18日、土木技師 奥間正則さんの講演「沖縄・大浦湾に軍事基地は造れない！ 土木技師が語る“辺野古埋め立て工事の今”」を拝聴しましたので、その要旨を告げます。

米軍普天間飛行場移設に伴う名護市辺野古の新基地建設に関し、埋め立て予定海域に、将来的に地震を起こす恐れのある「活断層」二本がぶつかり、そこに何度か断層が動いた結果生じたと見做される50メートル以上の落差が生じている。

二つの活断層に挟まれたところに辺野古新基地・弾薬庫を建設する計画になっている。

防衛局の設計図によれば、滑走路先端部分の護岸基礎構造は、捨石（1～2トンの石）を積み上げるだけの基礎構造となっている。その捨石の上にケーソン護岸が設置される。ケーソン護岸とは、鉄筋コンクリート製の箱で、秋田港の場合、1個の大きさは、幅24.4m、長さ30.5m、高さ23m、重さが約7,500トンある。

捨石の直下の地盤は沖積層という軟弱な地盤で、更にその下が“骨粗鬆症”のようなスカスカ状態で強度にばらつきのある岩、琉球石灰岩からなる。琉球石灰岩の下の岩盤が活断層である。

一度地震が発生した場合には、軟弱な地盤が液状化し、基礎ごと護岸が崩れる可能性が大きい。琉球大学の加藤名誉教授（地質学）は、活断層による地震や津波が発生した場合、辺野古新基地に弾薬庫や燃料庫、あるいは核が持ち込まれていたら爆発で大惨事になりかねないと指摘している。

政府は、昨年11月24日、衆参議院議員の質問主意書に対し、“一部に断層によると考えられる落ち込みが見られる。地震を引き起こす可能性がある活断層が存在するとは認識していない。安全性に問題は無い。”旨を、閣議決定し、答えた。加藤名誉教授は政府に“活断層の可能性を否定するなら、国は調査資料を公表し説明すべきだ”と、情報公開を求めているが、政府は拒否している。

加藤名誉教授の紹介に因れば、米国カリフォルニア州には“活断層一帯での建築禁止”を定めた「活断層法」がある。米国に活断層の存在を訴えれば、辺野古の新基地建設見直しに繋がる可能性があるとして紹介している。

名護市長、沖縄県知事の権限で工事が進まない理由などが紹介されましたが割愛します。

私共の知る権利が蹂躪され、政府・公僕のお知らせる義務が放棄されています。9条を守ることは、基本的人権を守ることであると、私は理解しています。辺野古の新基地建設見直し・中止は、9条を守ることに繋がるものと見做しています。

閣議決定を行い超法規的なことを実践しても、真実・真理は覆い隠せません。

注記：沖縄防衛局は昨年2月～4月に、多目的調査船ポセイドンによる大浦湾調査を実施している。

ポセイドンの航跡によれば、正確に10メートル間隔で調査しており、調査箇所は120カ所になる。ボーリング調査であれば、一カ所に留まり一定の調査を行うが、今回の調査箇所が活断層の想定ライン、ケーソン護岸の設置ラインと重なっており、等間隔の120カ所なので、琉球石灰岩の空洞化を調べるための音波探査であろうと推察される。防衛庁(当時)は2000年に50メートル近く沈下した落ち込みがある場所を記した「改訂断面図」を作成している。

追記：NHK 特集で、“沖縄に核は存在する”ことが紹介されましたが、その後、沖縄から核は運び出されたのでしょうか？
(代田4丁目・高須 義則)

集会等の紹介

「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」(3000万署名)

午後3時～4時

午前11時～12時

4月8日(日) 梅ヶ丘・駅前

3月24日(土) 下北沢・オオゼキ前

4月21日(土) 下北沢・オオゼキ前

4月7日(土) 午後2時～4時半 九条の会集会 ～3000万署名前進のために～

改憲発議阻止へ！ 呼びかけ人と世話人からの訴え

3000万署名の取り組み報告(各地の九条の会より)

音楽(唄・三線・ピアノ) Milk [弥勒]

会場：北とぴあ・さくらホール

5月3日(木・休) 11時～ 9条改憲NO! 平和といのちと人権を!

会場：有明防災公園(東京臨海広域防災公園)

主催：5・3憲法集会実行委員会

共催：総がかり行動実行委員会、安倍9条改憲NO! 全国市民アクション

